

⑦まちの情報

内容	詳細
<p>「七条第一小学校、七条第二小学校はどこに？」 七条第三小学校はもともと、七条小学校から分離された学校です。 もともと葛野郡七条村にあった七条尋常小学校が、大正7年に七条村が京都市に編入されたことにより京都市七条尋常小学校となりました。こちらが現在の七条小学校です。 その後、七条尋常小学校の児童数の増加により昭和8年、七条第二尋常小学校が開校。さらに児童数の増加により昭和12年七条第三尋常小学校が開校され、現在の七条第三小学校となりました。 七条第二小学校は昭和30年、唐橋小学校に改称されている。</p>	<p>—</p>
<p>梅小路公園には、「梅」という名の通り、14品種約150本もの梅の木がある。 ちなみに芝生広場東南にある梅林は2000年に下京区誕生120周年を記念して新設された。</p>	<p>—</p>
<p>烏丸五条交差点には5本の国道が集まっている。</p>	<p>東西に貫く国道1号線に加え、南に向かう国道24号線、北に向かう国道367号線、西に向かう国道9号線（堀川五条まで国道1号線と重複）の起点であり、東に向かう国道8号線（栗東市から国道1号線と重複）の終点となっている。</p>
<p>元植柳小学校は、植松町と柳町にまたがって建てられていたから植柳と名付けられた。</p>	<p>—</p>
<p>今の中央卸売市場は、日本で一番最初に開設されたが、それは米騒動が要因だと言われている。</p>	<p>—</p>
<p>梅小路公園の芝生は冬場も緑を保たれているのは、2種類の異なる芝生が植えられているからである。</p>	<p>梅小路公園では、サッカー場のように、夏芝と冬芝の2種類の芝生が植えられていることで、年中芝生が緑で保たれている。また「冬芝を育てる会」（大内学区）の皆さんが献身的に維持管理していただいているおかげである。</p>
<p>七条通にある魚屋さんは、お刺身、三枚おろしなどの下処理をしてもらえる。また調理法を伝えるとおすすめの魚を選んでくれて便利である。</p>	<p>—</p>
<p>京都駅ビルの「空中経路」は隠れた京都の展望スポットである。</p>	<p>1997年に開業した京都駅ビルには、ビルの東西を結ぶ「空中経路」と呼ばれる延長147mの回廊がある。入場無料で地上45mからは京都市内の景色を一望できるスポットである。</p>
<p>梅逕学区は下京区だけでなく南区にもある。</p>	<p>梅逕学区はもともとは南は九条通付近までである学区であったが、1955年に下京区から南区が分区したことに伴い、梅逕学区もJRの線路を境に下京区と南区に分割されることとなった。</p>
<p>京都ポルタのポルタダイニングには北山丸太を使用した正真木（しょうしんぼく）が設置されており、照明演出により春夏秋冬、昼夜が演出されています。</p>	<p>—</p>

<p>ポルタの西通りには鴨川を表す天然石が敷かれています。そのなかに「ポ」、「ル」、「タ」の3文字が隠されています。</p>	<p>—</p>
<p>～京都ポルタ東エリアには京和傘の2つのモニュメントがある～</p>	<p>京都は古くから都として栄えた土地柄、最も早くから和傘が使われてきました。京和傘は都ならではの審美眼の厳しい人々に使われる中で、過度な装飾を廃し、シンプルで上品な京都独自の美意識を持つ工芸品として発展してきました。京都の伝統美を感じる京和傘を京都ポルタ東エリアのシンボルとして、老舗・日吉屋による伝統の技を駆使した「蛇の目傘」と「番傘」を2018年3月に設置されました。</p> <p>京都特有の風土と環境の中で生れた数々の銘竹の中から胡麻竹を使用し、微妙な撚り加減で美しい螺旋模様を浮かび上がらせる伝統の技で組み上げられた組紐と、日本の伝統工芸和紙を使用しています。</p>